

放送文化基金主催のシンポジウム「8kから∞へ ～超高精細映像のゆくえ～」についてご案内申し上げます。本シンポジウムは、放送をはじめ、医療・美術・コンテンツなど様々な分野での8Kの展開の実態と可能性を探り、多角的な視野で超高精細映像の現在と将来を考えることを目的としております。

入場は、無料です。当日は会場で8K映像もご覧いただけます。

貴学会のメーリングリスト、またはウェブサイトへの掲載などで、学会員の皆さんにお知らせいただければたいへん有難く存じます。

お忙しいところを恐縮ですが、何卒よろしく願いいたします。

公益財団法人 放送文化基金事務局 担当／馬越、根橋、宝田

.....
【開催案内・申込み 詳細】 プログラム&お申込みは下記の URL よりアクセスして下さい。

http://www.hbf.or.jp/grants/article/8k_symposium

<日時> 2016年3月4日(金)13:00開場、13:30～16:30

<場所> ホテルルポール麹町 東京都千代田区平河町 2-4-3 TEL 03-3265-5361

<プログラム>

13:00～13:30 開場 3F マーブル入り口で8K映像をご覧いただけます。

13:35～13:55 <基調講演>

超高精細映像に関する委員会委員長 音 好宏 氏 (上智大学教授)

13:55～14:15 報告① ミュージアム

「国立博物館のスーパーハイビジョン」河野 一隆 氏 (九州国立博物館企画課企画課長)

14:15～14:35 報告② 医療

「世界初、8K腹腔鏡システムの臨床応用」森 俊幸 氏 (杏林大学医学部教授)

14:35～14:55 報告③ ディスプレイ開発

「世界初、8K映像モニターの発売とその活用への期待」吉田 育弘 氏 (シャープ A1292 プロ
ジェクタチーム統轄責任者)

14:55～15:15 報告④ コンテンツ制作

「テレビを超える『映像体験』の実現に向けて」小池 宏史 氏 (電通 CDC プランナー)

15:30～16:30 パネルディスカッション 『8Kから∞へ ～超高精細映像のゆくえ～』

パネリスト:榎並 和雅 氏(東京工業大学監事)、原島 博 氏(東京大学名誉教授)、
元橋 圭哉 氏(次世代放送推進フォーラム事務局長)

コーディネーター:音 好宏 氏(上智大学教授)